

関係各位

愛知県農業総合試験場長  
(公印省略)

病害虫発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。  
記

令和2年度病害虫発生予報第7号(10月)

担 当 環境基盤研究部病害虫防除室  
電 話 0561-62-0085  
内 線 471  
ファックス 0561-63-7820

## 令和2年度病害虫発生予報第7号(10月)

令和2年10月2日  
愛 知 県

### 普通作物

#### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ダイズ	吸実性カメムシ類	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 9月下旬の水田におけるミナミアオカメムシの発生量が多い 10月の気温は高い	± + +

#### ・防除対策

##### [ダイズ・吸実性カメムシ類]

ダイズの吸実性カメムシ類の発生量は平年並ですが、一部地域で多発生のほ場が確認されています。また、今後収穫後の水田からダイズほ場へ移動し、加害する可能性があります。ほ場におけるカメムシ類の発生状況をよく確認し、適宜防除を行いましょ。詳細は、9月16日発表の「吸実性カメムシ類情報第1号」を参考にしてください。

#### ・留意事項

水田において、トビイロウンカによる坪枯れが愛知県全域で確認されています。9月3日付でトビイロウンカを対象に「令和2年度病害虫発生予察警報第1号」を発表しましたが、坪枯れ発生地域は拡大しています。周辺ほ場で坪枯れが確認された場合は、早期収穫を行いましょ。早期収穫が困難なほ場については、収穫前日数に注意し、速やかに防除を行いましょ。

収穫後のひこばえは、イネ縞葉枯病の病原ウイルスを保毒したヒメトビウンカの生息場所になるので、水田を耕起し、ひこばえを放置しないようにしましょ。詳細は本日発表の「イネ縞葉枯病情報第2号」を参照してください。

県内のダイズほ場に設置したフェロモントラップにおいて、ハスモンヨトウの誘殺数はおおむね平年よりも少なく推移していますが、長久手市では多い状況です。一方で、9月下旬のダイズにおける調査では、ハスモンヨトウの寄生株率は過去7年で2番目に多くな

っています。名古屋地方気象台10月1日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高い見込みで、チョウ目害虫の発生に好適な条件が続きます。ほ場全体を注意して見回り、発生を確認したら、適宜防除を行いましょ。

## 果樹

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナシ	黒星病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
カキ	炭疽病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
カキ ウンシュウミカン	カメムシ類	<b>やや多い</b>	県全域	予察灯における誘殺数はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 9月下旬のカキにおける被害果率は平年並	+ ± ±

### ・防除対策

#### [カキ、ウンシュウミカン・果樹カメムシ類]

9月下旬の巡回調査において、尾張地域のカキで果樹カメムシ類による被害の多いほ場が確認されています。また、名古屋地方気象台10月1日発表の1か月予報によれば気温が高いと予想されており、果樹カメムシ類の活動が今後も続くおそれがあります。果樹園への飛来状況に注意し、**飛来を確認したら収穫前日数、使用回数に十分に注意して、カキではアグロスリン水和剤、スタークル/アルバリン顆粒水溶剤、モスピラン顆粒水溶剤など、ウンシュウミカンではダントツ水溶剤、スタークル/アルバリン顆粒水溶剤などで防除**しましょう。極早生品種などで収穫期に入っている園もありますので、周囲の状況に十分注意しましょう。

### ・留意事項

ナシ黒星病の越冬伝染源を減らすため、落葉処理や秋季防除を実施しましょう。詳細は、本日発表の「ナシ黒星病情報第1号」を参照してください。

ブドウべと病が発生しているほ場では、次作への伝染源を減らすため、落葉をほ場外に持ち出すなど適切に処分しましょう。

## 野菜

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ	べと病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	コナガ	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±
	ハイマダラノメイガ	<b>多い</b>	県全域	9月下旬の発生量はやや多い 10月の気温は高い	+ +
	アブラムシ類	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
キャベツ	黒腐病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	オオタバコガ	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並 10月の気温は高い	± ± +
	コナガ	やや少ない	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	- ±
	シロイチモジ ヨトウ	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い 10月の気温は高い	± + +
	ハイマダラノ メイガ	多い	県全域	9月下旬の発生量はやや多い 10月の気温は高い	+ +
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	コナジラミ類	多い	県全域	9月下旬の発生量はやや多い 10月の気温は高い	+ +
	黄化葉巻病	やや少ない	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない	-
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	炭疽病	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は高い 10月の降水量は平年並か少ない	± + ±～-
	ハダニ類	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は高い	± +
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや多い	県全域	9月下旬のキャベツにおける発 生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い 10月の気温は高い	± + +

#### ・防除対策

[ハクサイ、キャベツ・ハイマダラノメイガ]

本日発表の「ハイマダラノメイガ情報第1号」を参考にしてください。

[キャベツ・オオタバコガ]

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数はおおむね平年並ですが、多い地域もあります。防除対策については7月31日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参考にしてください。

[キャベツ・シロイチモジヨトウ]

9月16日発表の「令和2年度病害虫発生予察注意報第8号」を参考にしてください。

〔トマト・コナジラミ類〕

コルト顆粒水和剤やベネビアODなどで防除しましょう。訪花昆虫を利用する場合は影響日数に注意して薬剤を選定しましょう。

〔イチゴ・炭疽病〕

7月下旬の巡回調査（育苗ほ）では発生量が多い状況でした。発病株や隣接する株は速やかに抜き取って、ほ場外に持ち出し、適切に処分しましょう。ゲッター水和剤やベルクートフロアブルなどで予防的に防除しましょう。

〔イチゴ・ハダニ類〕

気門封鎖型農薬などで防除しましょう。多発すると防除が難しくなるので、発生初期に防除しましょう。訪花昆虫や天敵を利用する場合は影響日数に注意して薬剤を選定しましょう。

〔野菜類・ハスモンヨトウ〕

中齢以降の幼虫は、薬剤による防除効果が低い傾向にあるので、分散前の若齢幼虫期に防除しましょう。ハクサイ、キャベツは9月16日発表の「ハスモンヨトウ情報第2号」を参考にしてください。

花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	ハスモンヨトウ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 10月の気温は高い	+
	オオタバコガ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 10月の気温は高い	± +

・防除対策

〔キク（露地）・ハスモンヨトウ〕

トルネードエースDFやマッチ乳剤などで防除しましょう。

〔キク（露地）・オオタバコガ〕

オオタバコガは例年、10月に発生量が最も多くなります。着蕾期以降に食害を受けると被害が大きくなるので、早めの防除を心がけましょう。7月31日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参考にしてください。

予察灯、フェロモントラップなどの各種調査データは、ホームページ「あいち病害虫情報」(<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/investigation.html>)を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方气象台10月1日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、高い確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い : 20% 平年並 : 30% 高い : 50%

〔降水量〕 少ない : 40% 平年並 : 40% 多い : 20%

〔日照時間〕 少ない : 20% 平年並 : 40% 多い : 40%